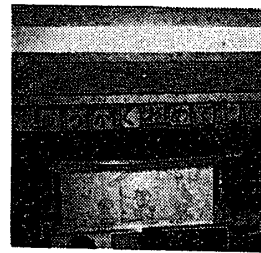


〔4〕 生活単元学習による実践

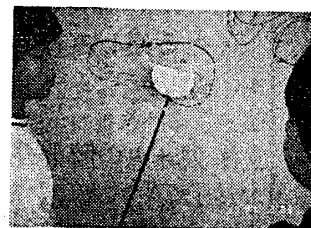
(1) 実践の概要

小学部の生活単元学習の単元は、学校行事にむけて、あるいは学部行事を設定しての事前学習や事後学習が中心となって展開されることがほとんどである。このような生活単元学習の中で、①主たる活動そのものが遊び活動、②主たる活動に関連した遊びが考えられる。また、大きく分けて(a)身体を使った遊び、(b)製作的遊び、(c)表現遊びを考えていった。以下の表は合同学習を中心とした実践の概要を示したものである。

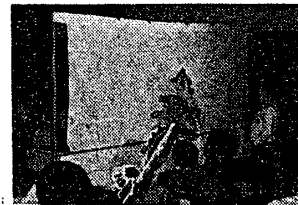
単元	単元の概要	
学習発表会	学習発表会で浜田廣介の童話「泣いた赤鬼」をアレンジし、粗筋や台詞を工夫した劇「あかおにあおおに」を発表した。前単元や他領域、他教科での学習を生かし、また背景や使う小道具を作る学習を組み立てていった単元である。○台詞遊び ○ダンス ○道具づくり	
六年生を送る会	小学部の6年生2名を中学部に送る送別会である。学習発表会で発表した「あかおにあおおに」を影絵にして発表し、卒業生と一緒にゲームをして楽しんだ。(1組)影絵遊び ペープサートを使った遊び	
新入生歓迎会	新入生2名を迎え、小学部の子どもたち保護者が一堂に会し、ゲーム等をして楽しみ、なかよくなる会として設定した単元である。 ○ゲーム ○ダンス ○影絵	
子どもの日を祝う会 (5月2日)	○すもう大会 ○ちまきづくり ○かぶとづくり	
づかくれりー	校内でカレーライスを作って食べることを目的とした単元である。	○カレーづくり (身体表現) ○材料あて遊び ○やじろべえ・こまづくり



新入生歓迎会の影絵



遊び時間のペープサート遊び



影絵をする子どもたち






ちまきづくり



かぶとづくり

クラスの生活単元学習

1組 おふる	お風呂ごっこ、ブランコ遊び、絵本の読み聞かせ、人形劇、あてっこ遊び・水爆弾  水爆弾遊び	2組 水あそび	ダンス 「アブラハムの子」 水鉄砲 「バイキンマン」をやっつける シャワーごっこ ボディ・ペインティング ボディ・ペインティング 	3組 修学旅行	おみやげづくり 思い出集づくり (砂やビー玉を使って) 水族館づくり ビー玉を使った思い出集づくり (魚づくり、釣り遊び、魚になって泳ぐ)	
-----------	---	------------	--	------------	--	---

たなばた発表会	<p>七夕祭りをする事とともに1学期の学習の成果を発表する会である。各クラス単位で劇を発表したり、しっぽとりゲームやバンブーダンスをしたりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○椅子とりゲーム ○仙台たなばた飾り作り ○しっぽづくり ○劇遊び(各クラス)
運動会	<p>9月22日の運動会にむけて種目練習のほかに種目に使う道具を製作した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道具づくり おさる、バナナの木 バナナ、岩づくり



発表会での手遊びの発表



グループに分かれての七夕飾り作り



運動会当日の演技



石垣づくり

(2) 実践例

行事への見通しをもちながら、楽しんで遊び活動を行った実践

単元「カレーづくり」




① 単元設定の理由


子どもたちが大好きな食べ物であるカレーライスを自分たちで作って食べようと設定した単元である。毎年この時期にカレーづくりをし、宿泊学習での夕食のメニューになっているなど子どもたちもカレーづくりの経験があり、カレーづくりに親しみを持っている。また、調理の手順が比較的簡単で分かりやすく、あまりできばえにこだわる必要がないことから自主的な取り組みが期待できると考えた。

② カレーづくりにおける遊び活動について

- ・ジャガイモや人参、玉葱の皮をむく、切る等のカレーづくりの工程そのものが遊びである。
- ・材料のあてっこ遊び、ジャガイモや人参の切れ端を使ったこまややじろべえづくり等カレーづくりに関連した遊びをする。
- ・カレーづくりに関する歌をうたったり、身体表現をしたりして楽しむ。

③ 実践の展開と子どもたちの様子

	結団式	第1回目	第2回目
カ ソ レ の も づ く り が 遊 び		<p>カレーを作った。 皮をむく→洗う→切る→煮る→運ぶ→食べる</p>   	
づ カ レ ー に	<p>カード拾い競争…名前 の書いてあるカードを 拾い自分のグループを 知った。</p>	<p>材料あてっこ遊び ブラックボックスに手 を入れ、手触りで中</p>	<p>こまづくり、やじろべえづくり むく、切るという作業が終わった時点で簡 単な掃除をし、落ちているじゃがいもや人</p>

関する遊び	作り方の劇遊び 人参や玉葱になって皮をむかれたり、食べられたりした。	のカレーライス の材料をあてた。正解の子には、ご褒美としてカレーを出した。	参の端切れを拾い集める。その端切れと針金や爪楊枝を利用して、やじろべえやこまを作った。できあがったやじろべえの針金の部分にシールをはって、自分のものという喜びを持った。
子どもたちの様子	カード拾いは、積極的に拾いに行き、裏返して名前を読んで探している子が多かった。友だちのカードを探してあげる場面も見られた。 劇遊びは、また、あまり経験もなく活発とは言えなかった。くすぐりの場面等部分的には楽しんでいった。	ブラックボックスの手を入れる丸い穴から、中の材料を取り出す子がいた。ルールが分かるまでに時間がかかったが、興味を持ってあてっこをした。	 <p>やじろべえを作るという経験は、今までほとんどなかったが興味を持って取り組んだ子が多かった。またシールをはる場面では子どもたちは集中して取り組んだ。</p>

④ 考察

カレーライスを作って食べるという楽しみに支えられた単元であった。今までの経験から子どもたち全員がカレーを作るという目的がわかり、皮をむく、洗う、切る、ルーを入れる、煮るといった活動に集中して取り組むことができた。しかし、その取り組み方は様々で、カレーを作ることを見通して取り組んでいる子は作業の段取りを考え能率的に仕事を進めていき、例えばむくことそれ自体を楽しんでいる子はむくことに熱中し材料がなくなるまでむいていた。皮がむけることが楽しくてしようがないといった様子であった。

また、カレーづくりに関する遊びでは、あてっこ遊びであたらたらルーをもらおう、落ちた芋や人参でこまを作ろうと設定した。感覚遊びの段階にある子どもはまだこれらの遊びを楽しんで、みんなと一緒にできなかったが、シールをはる等の場面で遊びの雰囲気味わったり教師と一緒にしたりした。みたて・つもり活動や仲間遊びの段階にある子は意欲的に見本を真似て作っていた。自閉的傾向のある子は、遊びの展開のパターンが分からず戸惑っている様子であった。

作ったものを使って遊ぶという見通しをもちながら

新しい素材に挑戦し楽しんで製作的遊びを行った実践

題材「しっぽづくり」

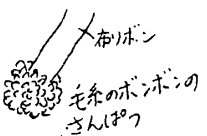
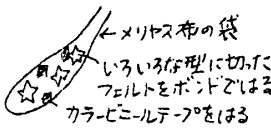
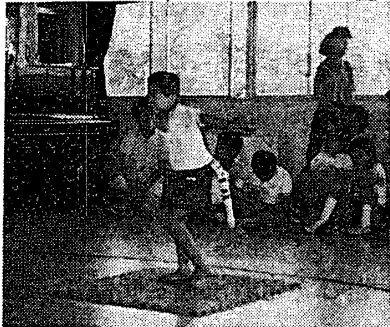

① 題材設定の理由

小学部では、願いごとを短冊に書いて笹に飾る日本本来の七夕祭りと1学期の成果発表をかねてたなばた発表会を開催することが恒例となっている。本年度は、各クラスの出し物の他にリズム・サーキットで行っているバンブーダンスや合同音楽で歌った「ハイキング」、合同体育で楽しんだ「しっぽとり」を家の人とすることにした。そこで、しっぽとりのしっぽを自分たちで作ることにし取り組んだのがこの学習である。

② しっぽづくりにおける遊び活動

- 毛糸のボンボン、ビニールテープ、ひも、リボンを使ってしっぽづくりをすることを楽しむ。
- 作ったしっぽでしっぽとりをして遊ぶ。

③ 学習の展開

導入	たなばた発表会で、おかあさんと一緒にしっぽりをすることを確認した。	
製作	<p>課題によって分けたグループで、製作した。</p> <p>①うさぎグループ(主として感覚遊びを楽しませたい) 課題…ビニールテープをはる 毛糸のボンボンの散髪</p> 	<p>②さるグループ 課題…星型に切った形をボンドではる。</p> 
		 <p>別の課題に挑んだり、お母さんの分と言って2本作った。</p>
使って遊ぶ	<p>できたしっぽを見せ合った(ファッションショー)。体育館に出て自分のしっぽをつけて遊んだ。今までのはちまきのしっぽでは見られなかったほど意欲的に取り組んだ。取られまいと工夫する児童もあった。</p>	

④ 考察

今まで、子どもたちがほとんど扱ったことがなかった布を使い、新しい経験をした。しっぽりに使うのだという目的を見通しをもってできた子ども、作ることを楽しんだ子とその取り組みの仕方は様々であった。しかし、ビニールテープをはる、フェルトをボンドではる、紐で三編みをあむ等、個に応じた作業の課題が設定でき、また子どもたちの興味を喚起することができた。早くできた児童はお家の人のしっぽを作ることで、量を配慮することもできた。自分の作ったしっぽを使って、今までのはちまきのしっぽより意欲的にしっぽりをして楽しむことができた。中には取られまいとしっぽの大部分をズボンに押し込む工夫する姿もみられた。

(3) 反省と今後の課題

なかよしタイムや合同体育、音楽、リズム・サーキットとの連関を図りながら題材を選定したことによって、学校生活全般の中から課題を見つけたり、目的意識が持てたりした児童もあった。例えばカレーづくりに見られるように、主たる活動そのものを遊び活動である場合、個に応じた題材選定や手だてを考えた結果、集中して取り組んでいる姿が数多くの場面で見られた。関連した遊びでは、仲間遊びやみたて・つもり活動の段階の子どもたちは楽しんで取り組むことが多かったが、感覚遊びや自閉的傾向のある子たちはまだ意欲的に取り組めないことが多かった。

遊び活動については、からだづくりという研究テーマが終わっても、生活単元学習で考えていかなければならない問題である。今後、なかなか遊び活動に意欲を持って取り組むことができなかった感覚遊びの子に対する取り組みせ方、より楽しめ自発的な活動ができる遊びの選定や遊びの環境作り等の課題に取り組んでいかなければならない。